

## 「第4期愛知県がん対策推進計画」に係る2025年度の主な取組

## 基本方針Ⅰ：がんの予防とがん検診による早期発見

## 1 がん検診の受診率向上対策について

## (1) がん検診普及啓発事業

市町村、企業等と連携し、「がん検診受診率向上に向けた集中キャンペーン月間(10月)」を中心にポスターを配布し、広くがんの予防やがん検診の普及啓発を実施。

- ① がんに備えるチラシ(チェックリスト)を協力企業において配布  
普段からがん罹患のリスクに備えることができるようチラシ「突然のがんに備えるチェックリスト～その時慌てないために～」を作成し、明治安田生命保険相互会社と協力して配布した。
- ② 啓発ポスターの作成・がん対策推進連携企業\*や鉄道会社における掲示  
がん検診受診率向上に向けた集中キャンペーン月間(10月)に合わせて、キャンペーン月間の周知用ポスターを作成し、掲示して周知を行った。

作成部数：1,370部

配布先：連携企業(ユニー、スギヤマ薬品等)店舗、名古屋鉄道株式会社、近畿日本鉄道株式会社、豊橋鉄道株式会社、愛知高速交通株式会社、スポーツ協会、市町村等



キャンペーン月間ポスター

\* がんによる死亡率の減少のためのがんの予防、検診受診促進に関する普及啓発やがん患者の支援に積極的に取り組む企業として本県が指定する。2025年12月31日現在22社

## (2) 女性特有のがん対策

検診の受診推奨開始年齢の女性が多く所属する団体(大学、企業等)と連携した啓発活動や女性が検診等を受診しやすい環境づくりのための医療機関に関する情報提供を実施。

- ① 女子学生等を対象に乳がん・子宮頸がん検診の啓発リーフレットや女性が活用しやすい啓発資材(あぶらとり紙)を作成・配布  
作成数：啓発リーフレット：5,000枚 あぶらとり紙：4,000個  
配布数：啓発リーフレット：2,550枚 あぶらとり紙：2,052個  
配布先：配布希望があった企業、大学、健康保険組合等
- ② 女性が受診する際に参考となる医療機関の情報や女性特有のがんに関する情報をHPに掲載  
掲載医療機関数(2025年6月現在)：213機関
- ③ ②の医療機関に乳がん・子宮頸がん検診の啓発リーフレットを配布し、活用を依頼

## 2 がん検診の精度管理等について

## (1) がん検診精度管理委員会の開催等

学識経験者等で構成する委員会において、前年度の市町村がん検診の実施結果やプロセス指標\*改善のための取組状況等の調査・集計・分析・検討等を行い、市町村へ情報の提供や技術的助言を実施。

\* 「プロセス指標」とは、検診が正しく行われているかを評価するためのもので、それぞれの体制の下で行った検診の結果のこと。精検受診率、要精検率、がん発見率、陽性反応適中度などが代表的。

## (2) がん検診従事者講習事業

がん検診の精度向上のため、各種がん検診に従事する者の資質向上を目的とした講習会を開催、また、胃内視鏡検査について、従事する医師等に対する研修会を開催予定。

- ① 大腸がん検診従事者講習会、胃がん検診従事者講習会、乳がん検診従事者講習会、細胞診従事者講習会を開催  
開催日：2026年2月16日(月)～3月16日(月)(予定)  
対象者：検診機関、保健所及び市町村等でがん検診に従事している診療放射線技師、臨床検査技師、医師、看護師、保健師又は行政事務に携わる職員等  
内容：がん検診に従事する医療従事者等を対象に、がん検診の精度の向上を図る講習会を実施。YouTubeによる動画配信予定。
- ② 胃内視鏡検査従事者研修会を開催  
開催日：2026年1月16日(金)～2月13日(金)(予定)  
対象者：市町村における胃がん検診の内視鏡検査に携わる医師等  
内容：胃内視鏡検査の実施にあたり適切な体制を構築するため、本県の対策型胃がん内視鏡検査の現状と、効率的な胃がん発見のための留意点などを学ぶ研修を実施。YouTubeによる動画配信とZoomによる質疑応答を実施予定。

基本方針Ⅱ：医療機関の役割分化・連携を通じた適切ながん医療の提供

1 がん医療提供体制等

(1) がん診療連携拠点病院等

国指定の「がん診療連携拠点病院」(19 病院) と県指定の「愛知県がん診療拠点病院」(10 病院) を中心に、地域におけるがん医療水準の向上とがん診療連携の強化を図っている。「国指定」と「県指定」の違いは、悪性腫瘍の手術件数などの指定要件(年間)による。

【愛知県内のがん診療連携拠点病院・愛知県がん診療拠点病院】



(2) がん診療連携拠点病院等の取組

都道府県がん診療連携拠点病院である愛知県がんセンターにおいて愛知県がん診療連携協議会\*を開催する等、様々な取組を行っている。

※ 国指定及び県指定の 29 病院及び愛知県(健康対策課)から構成され、県内のがん診療に係る情報共有、評価、分析、診療の質の向上につながる取組の検討等を協議する。

(3) がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金の交付

がん診療連携拠点病院が、がん相談支援センターの運営や診療機能、医療連携機能の強化を図るために要する経費に対して補助金を交付予定。

補助対象 : 15 病院 (国指定病院のうち国から直接補助を受ける 4 病院を除く施設)  
補助単価等 : 7,605 千円 (国 1/2、県 1/2)

2 AYA世代のがん対策

妊よう性温存治療費助成事業

将来自分の子どもを産み育てることを望むがん患者等に、精子や卵子等の採取・凍結保存にかかる費用及び、温存後生殖補助医療にかかる費用を助成。

【妊よう性温存療法】2021(令和3)年4月1日以降の治療から対象

助成対象	がん患者等(凍結保存時に43歳未満)
補助上限額	①胚(受精卵)凍結:35万円 ②未受精卵凍結:20万円 ③卵巣組織凍結:40万円 ④精子凍結:2.5万円 ⑤精子凍結(精巣内精子回収):35万円
助成回数	1患者あたり2回まで

助成件数 48 件 (2025 年 4 月～12 月)  
(参考) 2024 年度実績 64 件

【温存後生殖補助医療】2022(令和4)年4月1日以降の治療から対象

助成対象	夫婦のいずれかが妊孕性温存療法を実施した後に、温存後生殖補助医療を受けた者(妻の年齢が43歳未満)
補助上限額	①凍結した胚(受精卵)を用いた生殖補助医療:10万円 ②凍結した未受精卵を用いた生殖補助医療:25万円※1 ③凍結した卵巣組織再移植後の生殖補助医療:30万円※1～4 ④凍結した精子を用いた生殖補助医療:30万円※1～4
助成回数	通算6回(40歳以上43歳未満は通算3回)ただし、出産した場合及び妊娠12週以降に死産に至った場合はリセットされる)

※1 以前に凍結した胚を解凍した胚移植を実施する場合は10万円

※2 人工授精を実施する場合は1万円

※3 採卵したが卵が得られない、又は状態の良い卵が得られないため中止した場合は10万円

※4 卵胞が発達しない、又は排卵終了のため中止した場合及び排卵準備中、体調不良等により治療中止した場合は対象外

助成件数 12 件 (2025 年 4 月～12 月)  
(参考) 2024 年度実績 29 件

## 基本方針Ⅲ：がん患者や家族が安心して暮らせるための環境整備

### 1 相談支援について

#### がん患者・家族に対する相談支援事業

##### (1) ピア・サポーター養成事業

活動に必要な知識や対話技術を学ぶ「ピア・サポーター養成研修」を患者団体に委託して開催し、養成した。

##### ピア・サポーター養成研修

###### ア 基礎研修（計4回）

開催日：2025年8月9日（土）、19日（火）、9月6日（土）、22日（月）

修了者：16名

内 容：がん医療の基礎知識、がんのピア・サポートとは、ピア・サポートのルールとマナー、対応技法（積極傾聴・応酬話法）、模擬相談 等

###### イ 応用研修（計4回）

開催日：（講義）2025年11月28日（金）、12月8日（月）

（実習）12月～3月に各人2回

修了者：16名（予定）

内 容：がん医療の基礎知識、模擬相談、病院内実習 等

##### (2) がん患者・家族に関する相談支援事業

がん治療経験者によるがん患者・家族の悩みや疑問に対する電話相談を患者支援団体に委託して実施。

実施状況：4月から3月まで 原則毎月10回

利用者数（4月～12月）：352名（前年同期間346名）

### 2 情報提供について

#### (1) がん患者サポートブックの作成

「がん相談支援センター」を始めとする様々な相談窓口や医療費等の制度をまとめた「あいちのがんサポートブック」を毎年作成し配布。

#### (2) がんに関する情報をまとめたお役立ちシートの作成

がんに関する様々な情報に行き着くための入り口となるシートを作成し、愛知県ウェブページに掲載。



あいちのがんサポートブック（A5版）

← 作成部数：13,000部

配布先：がん診療連携拠点病院、医療機関、がん患者支援団体、健康保険組合、行政機関 等

お役立ちシート（A4版）→  
愛知県ウェブページに掲載



### 3 就労支援について

#### (1) 仕事と治療の両立に向けた啓発活動

働く世代のがん検診受診率向上やがんに罹っても働きながら治療を続けられる環境づくりに向けた啓発活動を実施。

##### ① 働く世代へのがん対策講演会の開催

がんの予防、早期発見や治療と就労の両立をテーマとした医師やがん治療経験者による講演を企業と連携し開催

###### ア 企業名：株式会社サンゲツ

開催日：2025年7月10日（木） 参加者：従業員 180名

###### イ 企業名：豊田合成株式会社

開催日：2025年10月21日（火） 参加者：従業員 233名

##### ② 「あいち地域両立支援推進チーム会議」への参画

地域の実情に応じた治療と仕事の両立支援のための取組の促進が図られるよう、地域の関係機関及び関係者により構成された「あいち地域両立支援推進チーム会議」に参画し、連携を図る。

チーム構成：愛知県医師会、愛知県経営者協会、日本労働組合総連合会愛知県連合会、愛知県社会保険労務士会、全国健康保険協会愛知支部、愛知産業保健総合支援センター、愛知県（労働局、保健医療局、福祉局）、名古屋市 等

事務局：愛知労働局労働基準部健康課

#### (2) 治療と仕事の両立支援セミナー・個別相談の実施

中小企業の経営者や人事労務担当者等を対象として、治療と仕事の両立支援に関する基調講演のほか、企業における取組事例を紹介するセミナーを開催。

また、社会保険労務士等の専門家を派遣し、企業からの両立支援に関する相談に応じる個別相談を実施。

開催日：2025年12月5日（金） 参加者：45名

個別相談参加企業：3社

#### 4 アピアランスケアについて

##### 愛知県がん患者アピアランスケア支援事業

薬物療法による脱毛や乳がん治療による乳房の形状の変化によるがん患者の心理的・経済的負担の軽減を図り、社会参加を促進するため、がん患者の医療用ウィッグや乳房補整具の購入費を助成する市町村(54 全市町村で実施)に対して補助。

補助上限額	1 申請あたり 20 千円 (ウィッグ、乳房補整具はそれぞれ 1 申請ずつ可能)
補助回数	1 患者あたり 1 回

2024 年度実績

医療用ウィッグ 2,736 件 乳房補整具 774 件

#### 5 がん診断後の自殺対策について

##### 看護師等のためのがん患者さんのこころのケア対応研修

開催日：2026 年 2 月 21 日 (土) (予定)

内 容： がん患者の抑うつ状態に早期に気づいて適切な対応ができるよう精神心理的苦痛に対する支持的コミュニケーションスキルや対応方法等について学ぶ。

#### 6 ライフステージに応じた療養環境への支援

##### (1) 小児がん対策

病気療養児の教育に携わる教員や医療者等が、日頃の支援の中で困っていることやわからないことについて、意見交換や情報交換を実施。

研修会名：令和 7 年度病気療養児の支援に関する研修会

開 催 日：2025 年 8 月 18 日 (月)

講義内容：「思春期に病気療養を経験すること  
—診断時から治療後の今に至るまで—」

講 師：大学院生 (オブザーバー：大学教授)

参 加 者：44 人

##### (2) 若年がん患者在宅療養支援事業

介護保険制度が適用されない 40 歳未満の若年がん患者の訪問介護や介護ベッド等日常生活に必要な介護に係る費用等の負担軽減を図るため、がん患者本人等に対して居宅サービス等に係る費用を支援する市町村 (48 市町で実施) に補助。

補助上限額	本人負担額に 10 分の 9 を乗じて得た額。ただし、1 回の申請あたり 54 千円を上限とする。
補助回数	1 患者あたり 1 回

2024 年度実績 162 件

#### 基本方針 I から III を支える基盤の整備

#### 1 がん教育及びがんに関する知識の普及啓発

##### (1) 外部講師を活用した現代的な健康課題理解増進事業

がんについて正しく理解し、健康と命の大切さについて主体的に考えることができる子どもの育成を目的に、本県のがん教育のあり方や地域支援体制の検討、外部講師の活用を図るため、協議会の開催や研修会、外部講師派遣事業を実施。

##### ① 外部講師を活用した現代的な健康課題理解増進事業協議会の開催

###### ア 第 1 回協議会

開催日：2025 年 7 月 11 日 (金)

内 容：令和 6 年度の事業報告及び愛知県のがん教育の取組状況等について  
令和 7 年度の事業内容について

###### イ 第 2 回協議会

開催日：2026 年 2 月 4 日 (水) (予定)

##### ② がん教育外部講師派遣事業

学校の授業や地区の教員研修等の外部講師派遣に係る講師料の補助

##### (2) がん教育外部講師リストの作成

がん診療連携拠点病院等及びがん患者支援団体等の協力を得て、がん教育外部講師リストを作成し、愛知県教育委員会、県民文化局及び名古屋市健康福祉局に提供。

2025 年度がん教育外部講師リスト 29 病院 160 名 3 団体 25 名 個人 2 名

2024 年度の外部講師リスト活用状況 50 校

#### 2 がん登録の利活用の推進

##### (1) 全国がん登録事業

医療機関から提出された届出情報について、全国がん登録システムを用いて、入力・確認・同一人物判定を行い登録を実施。

愛知県の 2024 年の届出件数 80,136 件、届出医療機関 166 機関

2021 年診断での罹患数は 51,102 名、死亡数 20,031 名

##### (2) 愛知県がん登録情報利用等審議会の開催

がん登録等の推進に関する法律 (平成 25 年法律第 111 号) 第 18 条第 2 項に規定された審議会で、全国がん登録情報の利用申請について、提供の可否等を審査するため、愛知県がん登録情報利用等審議会を開催。